学校支援地域本部事業

自治体名

岩手県陸前高田市

学校数

小学校　8校　　中学校　1校

震災後の地域の状況・仮設住宅数

東日本大震災による津波で、市街地の大部分が被災し、多くの児童が学区内外の仮設住宅等から通学している。社会基盤の多くが復旧されていない他、市の職員も多くが被災し、人的資源も不足している。仮設住宅への入居世帯は、1，964世帯である。

＜取組名＞　『学校と地域の協働推進』

取組概要

実施形態（該当に○）	自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	（連携している団体等・大学の名称）
	○			

実施主体・場所等	コーディネーター数	ボランティア延べ人数	年間実施日数（回数）	活動場所
	12人	555人（12月末時点）	133回（12月末時点）	小学校：矢作、横田、竹駒、気仙、高田、米崎、小友、広田 中学校：高田東

活動内容

※該当する内容に○

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
	○		○	○	○
学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
					（　　）
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他
	○				（　　）
家庭教育・保護者支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
					（　　）
地域課題に応じた学習・交流	高齢者支援・世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
					（　　）

＜取組の内容を具体的に記載＞

学校が必要としている支援に対し、地域の良質な資源（環境、人材、組織等）の活用を進めるとともに、被災後の各学校のニーズを把握し、学校における様々な教育活動・教育環境の充実を図る。具体的には、以下にあげる市内8小学校及び1中学校に地域コーディネーターを1～2名配置し、地域住民の協力を得ながら、様々な支援活動を行っている。

○対象小学校　・矢作小学校　・横田小学校　・竹駒小学校　・気仙小学校
　　・高田小学校　・米崎小学校　・小友小学校　・広田小学校

○対象中学校　・高田東中学校

○具体的支援活動場面　・登下校安全指導活動
　　・スクールバスの送迎対応（待ち時間、乗降時）
　　・図書整備支援活動（支援された図書のブックカバーかけ）
　　・学校行事支援活動
　　・教育環境整備　　等

取組の変遷

準備段階

◇被災による課題

震災復興を強力に推進するため、社会教育分野の予算や人員が削られる中、子どもと学校を拠点とした地域づくり、子ども達の放課後の安心・安全の確保、中高生の学習場所の確保などが求められている。また、こうした取組を推進する地域コーディネーターやボランティアなどの人材の確保・育成も課題である。

◇住民等からの要望・必要な取組

今もなお施設や住宅の建設等、震災からの復興が最優先の課題であるが、子ども達を取り巻く教育環境の悪化への対策には、保護者や学校から強い要望がある。また、学校のニーズに応じて柔軟に取り組める事業の展開が必要とされている。

体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

・コーディネーター　～　市教委が募集をした。
・ボランティア　～　市教委とコーディネーターが募集をした。
・市教育委員会　～　実施主体
・学校　～　活動内容の依頼、協力・連携、活動場所の提供、児童生徒への周知。

◇取組の充実や課題解決のための工夫

・それぞれの学校のニーズの把握と具体的取り組みの提案、実施。
・ボランティアを活用することで教員の負担を減らすと同時に、地域住民の生きがいづくりにも貢献することを目指す。

成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

・大型車の往来が頻繁となった通学路やスクールバスでの送迎対応において、子ども達の安全確保が図られた。
・震災後の様々な対応で多忙であった教職員の負担軽減に大きく貢献した。
・全国から寄せられた支援物資、特に図書の整理にかなり役立った。

◇課題や今後の展望

・現在は、コーディネーターが学校支援ボランティアを兼ねて実施している活動が多いため、地域のボランティアが学校を支援する本来の形に徐々に移行していくよう、体制づくりをしていく必要がある。

しかし、まだ多くの住民が生活再建中であることから、大々的にボランティア募集を行うことを控えているため、人づてに声を掛ける等、地道な取り組みが必要な状況である。